

牛白血病をご存知ですか？

【症状は？】

牛白血病は牛白血病ウイルスの感染による、リンパ球の腫瘍です。

削瘦、元気消失、食欲不振、下痢、便秘などの症状から始まり、最終的に**全身のリンパ節が腫れたり、眼球突出**などがみられます。直腸検査時に、骨盤腔内の腫瘍を触知する事によって発見されることもあります。

残念ながら、ワクチンや治療法はありません。

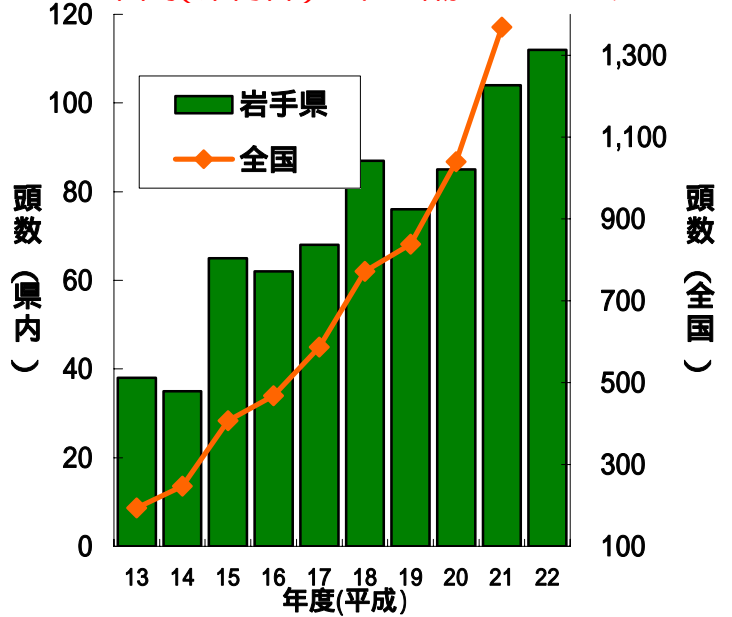


【体表リンパ節の腫れ】 【眼球の突出】

【何が問題なのでしょう？】

【発生状況は？】

～ 全国的(県内含)に年々増加しています ～



感染しても発症はわずか数%！
しかも、時間がかかる(4~5歳以降)ため、知らずに感染が拡大！

【どのようにして感染するのか？】



【どうすればいいの？】

農場での対策

まずは飼養牛の検査から

自分の牛が感染しているかどうか把握することが大事です。血液で検査可能！

もしも感染していたら？

感染牛と非感染牛は分離して飼育しましょう！

間に防虫ネットを張る又は1 m以上間隔をあける等で、アブ等による感染リスクを低減できます。

非感染	非感染	非感染	非感染	非感染	感染牛	感染牛	感染牛
通路							
非感染	非感染	非感染	非感染	非感染	非感染	非感染	非感染



【1床分空ける】



【間に防虫ネット】

アブ対策を実施しましょう！

- 殺虫剤や忌避剤を上手く活用しアブ等による感染リスクを低減！



殺虫・忌避剤（休業期間なし）



殺虫・忌避成分が入ったイヤータグ

出血を伴う治療又は除角・耳標等の装着作業に十分な注意を払うことが大切です！
獣医師や人工授精師に徹底してもらってください。

- 注射針や直腸検査用手袋の利用は、1頭ごとに！
- 除角器、耳標・鼻環装着器の消毒も、1頭ごとに！

感染牛の初乳を与える場合は加温処理又は凍結処理が有効です！

- 加温処理（60℃、30分加熱）凍結処理により、ウイルスの感染力は無くなります。

感染牛は計画的に更新しましょう！

- 更新計画は感染牛を減らすことを考えたものにしましょう。

基本的な衛生管理を徹底しましょう！

- 手指や作業服等は常に清潔を保ちましょう。
- 使用する器具・機材の消毒を徹底しましょう。



農場の衛生対策・生産性向上をお手伝いします！

【お問い合わせ先】 岩手県中央家畜保健衛生所 電話:019(688)4111